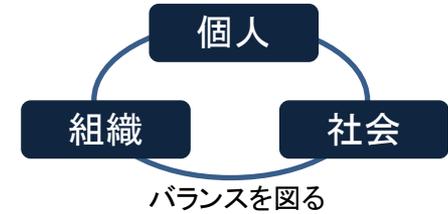


# 組織を定義する

## 組織存在の前提

組織は社会に在って、社会の一つ以上の機能を果たして存在する。  
 社会がなければ組織は存在しない。—組織だけで社会は構成されない。



### 組織存在意義

社会機能

社会問題の解決

組織の特異

資源提供

### 組織人材

知識の集約

意識の集合

生活基準を構築

### 組織システム

生産性のスタイル

継続・発展を図る

知識集約のスタイル

- 《知識の集約》 今や組織は、人材がもつ知識を集約し、彼らの意義を満たさねばならない。
- 《生活基準を構築》 組織活動を通して、人材の生活を規定し、社会の生活スタイルを提案する。

## 組織の形態についての定義

- 《生産性のスタイル》 組織は、何らかの生産性のためのラインを持つ。
- 《知識集約のスタイル》 組織は、人の知識・技術、労働を持って、組織の機能を果たす。組織人をまとめるシステムを持つ。
- 《継続・発展を図る》 組織は、社会機能を果たし、人材の生活を維持発展させ、組織自身の継続・発展させるシステムを持つ。

## 組織の存在意味についての定義

- 《社会機能》 組織は、社会の機能を果たす。故に、社会での機能を示し、社会で具現化するものを明らかにしている。組織ミッションと事業定義を明らかにしている。
- 《組織特異》 組織の特異を持って、社会の機能を果たす。故に、組織特異を明らかにする。組織特異を突き詰めていこうとする。
- 《資源提供》 組織の特異をもって、社会の発展を進めていく。組織は社会に資源を提供する。
- 《社会問題の解決》 特異をもって、社会の問題に取り組み、解決していく。

## 組織人材についての定義

- 《意識の集合》 組織は、共通の目的、共通の価値観を持つ人々が集まっている。

これらは、すべての組織について、整えられているはずである。